



今日のトピック **米雇用統計悪化も、株価は最高値を更新
市場では追加の経済対策への期待が高まった**

**ポイント1 米雇用者数は14万人減少
8カ月ぶりのマイナス**

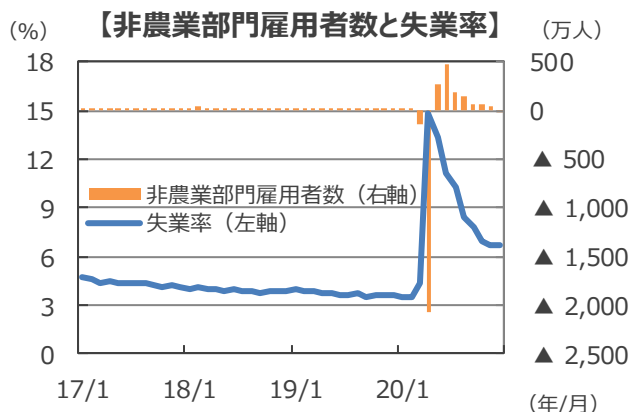
- 米労働省が1月8日に発表した12月の雇用統計によれば、非農業部門雇用者数は前月比14万人減と、8カ月ぶりに減少しました。雇用者数は前月の33.6万人増からマイナスに転じ、事前の市場予想（10万人増・FactSet集計）も下回りました。また、失業率は市場では若干の悪化（6.8%・同）が予想されていましたが、6.7%と前月から変わらずとなりました。
- 米国では新型コロナの感染再拡大に伴い、各州で行動制限が課されていることから、飲食を含む余暇・娯楽を中心に、雇用市場の改善に急ブレーキがかかりました。

ポイント2 足元悪化も、先行きの経済見通しは引き続き堅調

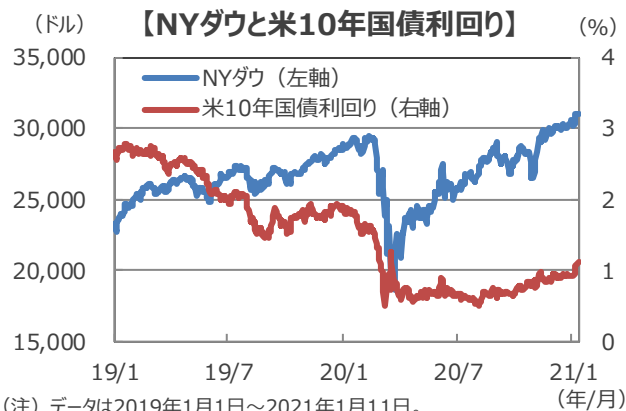
- 今回の雇用統計は減速となり、足元でも1日あたりの新規感染者数が高水準なことから、1月の雇用統計も引き続き厳しいものとなることが予想されます。
- 但し、悪化の理由が新型コロナの感染再拡大であることから、行動制限や新型コロナワクチン接種の普及によって状況の改善が期待できることに加え、追加の経済対策による経済浮揚効果から、米国経済の先行きは引き続き堅調とみられています。

今後の展開 追加の経済対策とワクチンに期待し、業績相場入りを待つ展開

- 8日の米国株式市場は、積極的な金融緩和が続く中、民主党がホワイトハウスと上下院議会を押しえたこともあり、追加的な経済対策への期待が高まり、主要3指数揃って最高値を更新しました。
- 今後、新型コロナワクチンの有効性に疑問符がつくような状況に陥れば市場のセンチメントが一変するリスクもありますが、新型コロナの収束が期待できる状況が続けば、弱めの経済指標が出て、積極的な金融・財政政策への期待から、米株の堅調さが続く可能性があります。また、今週から始まる10-12月期業績発表で企業の収益力の高さが示されれば、さらに株価を押し上げることが見込まれます。



(注) データは2017年1月～2020年12月。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



(注) データは2019年1月1日～2021年1月11日。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2021年 1月 6日 政権運営の鍵を握るジョージア州上院『決選投票』
2020年12月21日 2020年の米国株式市場の振り返りと見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。